

第1540回9月第2例会「お月見例会」

9月19日 in横浜



<会長肝いりの県外例会 横浜で笑顔あふれるひととき>
 本年度の目玉の一つとして位置づけられました「県外例会」が、このたび開催されました。近隣クラブの減少というニュースを受け、勝亦会長は「広域でつながることが今後ますます大切になる」と述べられ、新たな交流の方向性を示されました。
 例会の後に行われた懇親会では、横浜という新鮮な舞台も相まって、参加された皆さまの表情は一層和やかで、終始笑顔に包まれておりました。勝亦会長は「新東名が全線開通すれば、横浜も生活圏に入ってまいります」と将来の展望についても触れられました。さまざまなご意見がある中で、参加者の笑顔が印象的であり、県外例会の新たな可能性を感じさせる一日となりました

9月定例理事会後の納涼会

9月9日（月） ホワイトパレス



<納涼会を開催 笑顔あふれるひととき>
 9月9日、理事会後の納涼会がホワイトパレスのビアガーデンで行われました。普段の例会ではなかなか笑顔の写真を撮ることができない勝亦会長も、この日はメンバーと談笑されている姿が印象的でした。鈴木一成幹事は、宴席では変わらぬ“無双ぶり”を発揮し会場を盛り上げました。
 また、お腹の大きさを比べ合うメンバーの姿も見られ、まだまだ暑さの残る中でしたが、和気あいあいと楽しい時間となりました。

2025年度第1回献血事業

9月18日（木） 市役所駐車場



<三献委員会 富士市役所で献血事業>
 9月18日、本多康弘委員長率いる三献委員会による献血事業が富士市役所で行われました。汗をにじませながら熱心に呼びかける本多委員長の姿は、まさに頼もしく輝いていました。
 この日は17名の方に献血志願をいただきましたが、体調などの理由で6名が実施できず。その中には、L佐野晶彦が「3カ月以内に他の場所で献血していたためお断りされる」という珍しいケースも。血の気あふれる彼には、むしろ“普通の人より少し多めに抜いてもらった方がいいのでは”と個人的にそう感じましたが皆さんはいかがでしょうか。

例会を支える“縁の下の力持ち”

毎月二回行われる例会には、表に出ることは少なくとも、しっかりと支えてくださる“縁の下の力持ち”の皆さまが数多くいらっしゃいます。本日はその一部をご紹介します。

まず、富士吉原ライオンズクラブの例会といえ

ばおなじみの「ラジオ体操」でございます。今回はL羽切泰隆が「ラジオ体操奏者」として音頭を取り、会場を和やかに盛り上げてくださいました。

さらに、県外例会では、開店時間に厳しい中華店での開催という難しい条件の中、速やかな設営と撤収を行ってくださった佐野晶彦委員長をはじめライオンテーマーの皆さまのご尽力が光りました。

